

県立高等学校入学者選抜の改善試案

1 改善の背景

現行の入学者選抜制度については、これまで7回実施する中で次のような現状と課題が指摘された。

- (1) 前期選抜では、定員設定が全体の約6割となっていることから受検生の4割以上が不合格を経験しなければならない。不合格になった受検生のうち、その約6割が、後期選抜で同じ学校・学科を受検している状況である。
- (2) 学習の成果に加え生徒の多様な能力・適性、意欲、努力の成果、活動経験等の優れた面を多角的に評価するものとして実施する前期選抜、生徒の学習の成果を主に評価するものとして実施する後期選抜と、それぞれ異なる趣旨で実施されているが、いずれも学力検査を課していることから、それぞれの選抜の違いがわかりにくくなっている。
- (3) 2回の選抜があることにより受検期間が長期化し、中学校・高等学校ともに授業確保が難しくなっている。

2 改善の方向性

- (1) これまでの入学者選抜の理念を継承し、学習の成果に加え中学校での取組や活動経験等、生徒の優れた面を多角的に評価できる選抜とする。
- (2) これまでの受検動向を踏まえるとともに、新学習指導要領への対応も含めた、中学校、高等学校における授業時間を確保するため、1回の選抜とし入学者選抜の実施時期を見直す。
- (3) インフルエンザ罹患による急な発熱等、やむを得ない理由により本検査を受検できなかった者に対し、受検機会を保障するため追検査を設ける。
- (4) 受検校をより慎重に決定することができるよう、志願変更等の期間を設ける。また、受検生の負担を軽減するため、学力検査を2日間で実施する。

以上の点を踏まえ、次のような改善試案を作成した。

現 行

改善試案

<p>◆ 前期選抜</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施時期：2月中旬（2日間） ・選 抜 枠：募集定員の 普通科 30%以上60%以内 専門学科及び総合学科 50%以上100%以内 ・検査内容： 第1日 学力検査 5教科 第2日 各学校で定める検査 (面接、作文、適性検査、 学校独自問題等のうち からいずれか一つ以上の 検査) ・入学願書等提出期間：2日間 ・志願又は希望変更の受付期間：なし <p>◆ 後期選抜</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施時期：3月上旬（1日） ・選 抜 枠：募集定員から前期選抜 の入学許可候補者に内 定した者のうち入学確 約書を提出した者の数 を減じた人数 ・検査内容：学力検査 5教科 各学校が必要に応じて 実施する検査 ・入学願書等提出期日：1日 ・志願又は希望変更の受付期間：2日間 (2日目は正午〆切) 	<p>◆ 本 検 査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施時期：2月下旬（2日間） ・検査内容： 第1日 学力検査 3教科 第2日 学力検査 2教科 各学校で定める検査 (面接、作文、適性検査、学校独自 問題等のうちからいずれか一つ以 上の検査) ・入学願書等提出期間：2日間 ・志願又は希望変更の受付期間：<u>2日間</u> ・選抜方法：学力検査、調査書の内容及び各学 校の特色に応じて、生徒の多様な 能力・適性・努力の成果等の優れ た面を多角的に評価できる選抜と する。 <p>◆ 追 検 査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施時期：合格発表までに実施（1日） ・検査内容：本検査に準じる <p>◆ 結果発表（3月上旬）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本検査と追検査の結果を併せて<u>同一日に発表</u>
---	--

3 実施時期

入学者選抜制度の変更に伴う、受検生への周知期間及び中学校・高等学校の準備期間を考慮して、平成32年度に実施する平成33年度入学者選抜以降から実施する方向で検討。